

CSR 報告書 2018

CORPORATE SOCIAL RESPONSIBILITY REPORT 2018



自然と社会と人に 深くかかわる企業として、 人々のためにより良い環境を創造する。

大成ロテック株式会社は、社会とすべての利害関係者から信頼を得て、
企業の社会的責任、持続的な成長を果たすことを追求し、
法令の順守、業務の継続的改善を推進するためのマネジメントシステム方針をここに定める。

品質方針

創造力と知恵を結集して
技術の研鑽に努め、
社会と顧客から評価され、
信頼される品質を確立する。

環境方針

地球環境の保全を推進し、
循環型社会の実現に寄与して、
次世代のために
美しい快適環境を創造する。

安全衛生方針

先取り型の安全衛生管理活動を
全員参加で実施して、
労働災害、公衆災害、交通事故を撲滅し、
健康で明るい職場環境を構築する。

CONTENTS

企業理念	1
会社概要／中期経営計画(2018-2020年度)	3
事業所ネットワーク	4
トップメッセージ	5
社章変更のお知らせ	6
景観・環境技術紹介	7
製品事業での取り組み	11
マネジメント報告	13
地域社会とともに	15
従業員とともに	17
労働安全衛生管理体制	19
環境活動報告	21
2017年度の施工実績	22

編集方針

当CSR報告書は、大成ロテック株式会社が社会に果たす役割とさまざまな取り組みを皆様にお伝えすることを目的に発行しております。

今年度は当社の主たる事業である道路舗装工事を紹介し、私たちの会社をもっと知っていただけるよう工夫をしてみました。

当報告書が、当社をより良く理解していただくための一助となれば幸いです。

お忙しい中、記事にご協力いただいた方々、ならびに編集委員にこの場を借りて深く感謝いたします。

対象組織：大成ロテック株式会社

対象期間：2017年4月1日から
2018年3月31日まで

※一部期日を明記した上で当該期間以外の内容も記載しております。

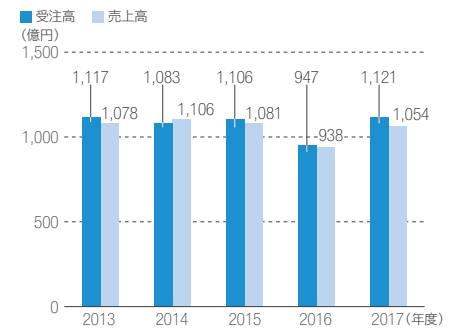
お問い合わせ先：

大成ロテック株式会社 経営企画部
東京都新宿区西新宿8-17-1
住友不動産新宿グランドタワー
TEL 03-5925-9435
FAX 03-3362-5804

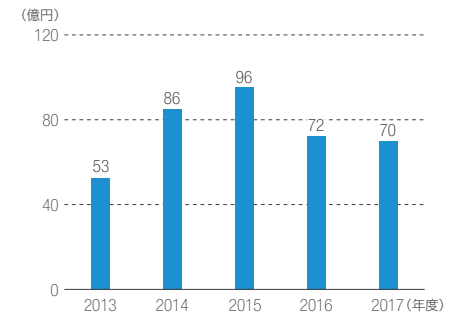
会社概要

商号	大成ロテック株式会社
本社設立	東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー 1961年(昭和36年)6月15日
資本金	113億5百万円
建設業許可	国土交通大臣許可(特-29)第1964号
建築士事務所登録	一級建築士事務所(東京都知事登録第21111号)
建設コンサルタント登録	国土交通大臣登録 建26第130号
宅地建物取引業者	東京都知事(12)第33255号
従業員数	998名(2018年(平成30年)3月31日現在)
営業種目	<ol style="list-style-type: none"> 次に掲げる工事の設計、施工、監理およびコンサルティング (1) 道路工事 (2) 舗装工事 (3) 防水工事 (4) 管工事 (5) 造園工事 (6) その他の土木工事 (7) その他道路に関する工事 (8) 建築工事 建設用資材の製造および販売 建設機械器具の設計、製作、販売、修理および賃貸 道路、空港、上下水道その他公共施設等の企画、建設、保有、維持管理及び運営 スポーツ施設、飲食店等の商業施設、医療介護施設等の経営および賃貸 産業廃棄物の処理ならびにその再生品の製造および販売 不動産取引および不動産管理に関する事業 発電およびエネルギー供給事業 労働者派遣事業 前各号に付帯関連する一切の事業

受注高および売上高



経常利益



中期経営計画(2018-2020年度)

当社はコンプライアンス遵守を基本とする経営方針の下、高収益体質への転換に取り組み、今後の持続的成長を実現し、業界内での確固たる地位を確立するため、今般、中期経営計画(2018~2020年度)を策定しました。

— 基本方針 —

Sustainability

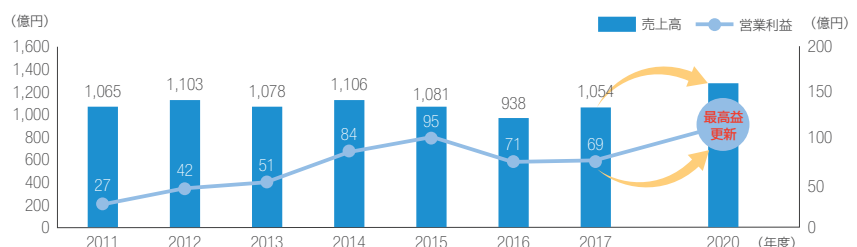
持続的成長を実現していくために、私たちは未来に向けて挑戦します

コンプライアンス遵守を全ての事業活動の前提とし、以下を基本方針とします



経営数値目標

当社の過去最高益の更新を目指します。



事業所ネットワーク

本社を中心に支社、事業所など、日本全国に200ヶ所以上の拠点を設置。
各種工事の施工、アスファルト合材などの製造・販売など、万全の事業ネットワークで豊かな社会づくりに貢献します。

● 本社

技術研究所／機械技術センター／鴻巣研修センター

● 北海道支社

道南事業所 函館営業所／門別営業所／道南工事事務所／
日苦工事事務所／函館アスコン／イブリアスコン／
洞爺アスコン／苫東アスコン／門別合材工場

道央事業所 札幌営業所／ニセコ倶知安営業所／道央工事事務所／
札幌中央アスコン

道北事業所 遠別営業所／弟子屈営業所／道北工事事務所／
道東工事事務所／大雪アスコン／遠別合材工場／
丹頂アスコン／弟子屈合材工場

● 東北支社

北東北事業所 岩手営業所／岩手工事事務所／釜石工事事務所／
久慈工事事務所／青森工事事務所／秋田工事事務所／
盛岡合材工場／久慈中央アスコン／秋田アスコン

宮城事業所 宮城営業所／宮城工事事務所／山形工事事務所／
仙台東アスコン／山形合材工場

福島事業所 福島営業所／福島工事事務所／福島北工事事務所／
いわき工事事務所／相馬工事事務所／
福島県中央アスコン／若松アスコン／
福島・県北アスコン／いわきアスコン／相馬アスコン

● 東関東支社

千葉事業所 千葉営業所／成田営業所／房総営業所／
千葉工事事務所／成田工事事務所／
房総合材工場／成田アスコン

船橋事業所 船橋営業所／船橋工事事務所／柏工事事務所／
トーセキアスコン

茨城事業所 茨城営業所／鹿島営業所／土浦工事事務所／
ひたちなか工事事務所／石岡合材工場

● 北関東支社

さいたま事業所 さいたま営業所／さいたま工事事務所／浦和アスコン／
鴻巣上谷環境センター

川越事業所 川越営業所／川越工事事務所／花園工事事務所／
花園合材工場

北関東事業所 栃木営業所／栃木工事事務所／群馬工事事務所／
栃木アスコン

● 北陸支社

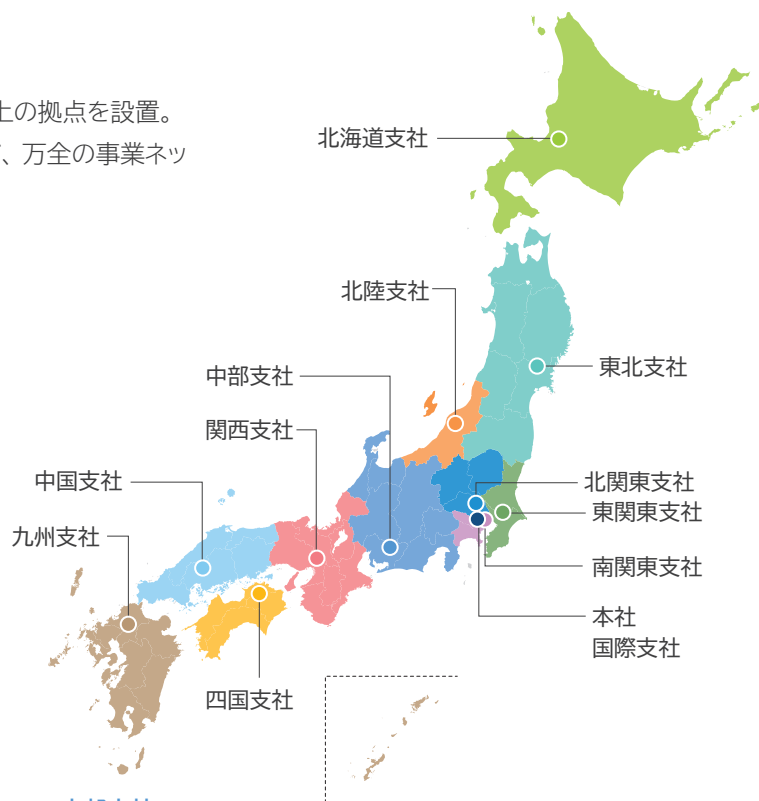
新潟工事事務所／新潟アスコン

● 南関東支社

東京事業所 東京営業所／京浜営業所／川崎営業所／
東京工事事務所／京浜工事事務所／東京青海合材工場／
城南島リサイクルセンター

多摩事業所 多摩営業所／多摩工事事務所

横浜事業所 横浜営業所／横浜工事事務所／相模アスコン



● 中部支社

名古屋事業所 名古屋営業所／富山営業所／福井営業所／
名古屋工事事務所／石川工事事務所／
エーシートコアケ／加賀アスコン

尾張事業所 尾張営業所／岐阜営業所／長野営業所／
尾張工事事務所／小牧合材工場

三重事業所 三重営業所／三重工事事務所／名四アスコン

浜松事業所 浜松営業所／浜松工事事務所／湖西アスコン／
静岡アスコン

● 関西支社

大阪事業所 大阪営業所／奈良営業所／大阪工事事務所／
岸和田合材工場／淀川アスコン

神戸事業所 神戸営業所／神戸西営業所／神戸工事事務所／
せいしんアスコン／姫路アスコン

京阪事業所 京阪営業所／京都営業所／福知山営業所／
京阪工事事務所／大阪アスコン／福知山合材工場／
京丹後アスコン／綾部アスコン

● 中国支社

東中国事業所 岡山工事事務所／鳥取工事事務所／津山合材工場／
鳥取合材工場

西中国事業所 呉営業所／島根営業所／備後営業所／
広島工事事務所／山口工事事務所／広島合材工場／
広島アスコン／島根アスコン／防府アスコン

● 四国支社

高知営業所／香川工事事務所／愛媛工事事務所／池田アスコン／
脇町アスコン／東予アスコン

● 九州支社

北部事業所 福岡営業所／福岡工事事務所／大分工事事務所／
佐賀工事事務所／玄海アスコン／豊海アスコン／
佐賀合材工場／福岡サテライト工場

中南部事業所 熊本営業所／熊本工事事務所／鹿児島工事事務所／
熊本合材工場／阿蘇合材工場／ひむか合材センター

沖縄事業所 沖縄工事事務所／海邦アスコン

トップメッセージ



－ Sustainability －

持続的成長を実現していくために、
私たちは未来に向けて挑戦します

代表取締役社長 西田 義則

私たちを取り巻く環境および課題

東京オリンピック・パラリンピックの開催を目前に控え、民間プロジェクトやインフラ投資等によって、建設市場は引き続き堅調に推移しています。一方で、建設投資がインフラの新設から維持修繕へとシフトが進み、PFI・コンセッション事業が拡大していくなど、市場環境は緩やかではありますが刻々と変化しつつあります。

また、少子高齢化社会が進むわが国において担い手を確保し生産体制を維持していくことは、まさに喫緊の課題であり国・業界を挙げて、働き方改革と生産性向上への取り組みが行われています。

中期経営計画(2018-2020年度)の策定

このような状況の下、当社は持続的成長を実現するために中期経営計画(2018-2020年度)を策定しました。中期経営計画では、まずコンプライアンスを全ての事業活動の前提としています。その上で、①インジェク土工法、保水性舗装などの保有技術や長年蓄積してきた技術力など当社の強みを生かした「本業のさらなる強化」、②維持修繕事業や建築事業、海外事業等の「新たな事業分野への挑戦」、③IT技術の活用や人事諸施策などによる「働き方改革・生産性革命の推進」、④ものづくりを行う企

業の責務として「安全・環境・品質トラブルの防止」などの取り組みを推進し、社会から必要とされ続ける企業を目指してまいります。

大成建設グループの一員として

当社は、10月1日より、1992年から20年以上使用していた社章を大成建設グループの社章と統一しました。統一することで、当社が大成建設グループの中核企業であることを社内外に明確に示し、「グループ力」のシナジー効果を最大限に生かすとともに、コンプライアンス遵守の徹底や働き方改革の推進に向けた意識改革につなげていきたいと考えています。

「自然」と「社会」と「人」に 深くかかわる企業として

当社は、自然環境や地域の景観に配慮した舗装技術の開発や工場のリニューアルを行っております。そして、これからも道路建設を中心とした社会基盤の整備にかかわりながら、企業理念である「自然と社会と人に深くかかわる企業として、人々のためにより良い環境を創造する」ことを実現してまいります。

社章変更のお知らせ

－ 持続的成長の実現に向けて、グループ連携をさらに強化 －

当社は、2018年10月1日より、社章を大成建設グループのシンボルマークに変更しました。



オレンジ：明るい未来
ブルー：優れた技術
グリーン：豊かな自然

当社は、現社章を大成建設グループのシンボルマークに変更し、「グループ力」のシナジー効果を最大限に生かしながら、営業力・調達力の強化、技術力の向上および優秀な人材の確保を図り、コンプライアンス遵守を基本とする経営方針の下、今年度策定した「中期経営計画（2018～2020年度）」の最終年度において過去最高益の更新を目指します。

大成建設グループの中核企業である弊社は、今後とも道路建設業界のリーディングカンパニーとして、より一層社会から信頼される力強い企業となるべく新たにスタートいたします。

総合受付リニューアル

当社は、社章変更に合わせて総合受付をリニューアルいたしました。

総合受付エリアにはショールームスペースを併設し、お越しいただいたお客様には当社の技術に触れていただくとともに、「くつろぎ」と「おもてなし」を意識した広々とした空間を提供します。





景観・環境技術紹介

アスファルト舗装やコンクリート舗装だけでなく、街並みや景観、環境に配慮した舗装に注目が集まっています。そんな社会のニーズに応える大成ロテックの景観・環境技術をご紹介します。



インジェクト工法

営業担当者の声

JR東京駅丸の内駅前広場は天皇陛下が行幸の際に通られる場所です。また国内外の多くの観光客が利用する、東京の玄関口でもあります。インジェクト工法での石張りは美しく、赤レンガの駅舎と、皇居に続く行幸通りと調和しています。駅前広場の日中の賑わいと、夕暮れ・夜間のライトアップは必見です。ぜひ一度お立ち寄りください！



高木 加奈美

工事担当者の声

丸の内駅前広場は、皇居へ続く行幸通りとの一体感を意識して、白を基調とする自然石で舗装されています。約13,000㎡のインジェクト工法が採用され、赤レンガ造りの丸の内駅舎を引き立て美しく仕上がっています。特に、路上に薄く水を張った水景エリアは、水深5mmほどで、高い精度が求められ、難しい施工でしたが、きれいな仕上がりになりました。東京駅にお越しの際には、ぜひ広場にお立ち寄りください。すばらしい広場です。



窪 祐哉



JR東京駅丸の内駅前広場（東京都）／インジェクト工法（石張り舗装）

インジェクト工法は、自然石を使用した高い耐久性を持つ石張り舗装技術です。この工法を採用することで地域社会に美しい景観をつくり出すことができます。現在までに28万㎡以上、800件以上の施工実績があります。



花見小路通 (京都府)



出雲大社神門通り (島根県)

新商品の紹介「TRミックスアクア」

当社は、アスファルト常温合材「TRミックス」シリーズの新商品として高耐久常温型路面補修材「TRミックスアクア」を開発しました。

従来のアスファルト系常温合材との違いは、長期にわたって飛散などの損傷が生じにくく耐久性が高いこと、特殊な固化材と水を反応させることで、急速に硬化することです。補修現場では、穴埋充填や段差修正後、散水するだけで、30分以内に固化するため、短時間での交通開放が可能になります。



ポットホールの補修



段差すりつけ

■他の常温合材「TRミックス」シリーズ



TRミックスオールウェザー
たわみ追従性に優れた全天候型常温合材です。

TRミックス
低価格で手軽に施工ができる常温合材です。

ワンダーコーティングシステム

ワンダーコーティングシステム - ガラスコートシリーズ-は構造物の延命を目的に開発された高性能塗装システムです。

常温での塗装が可能で、乾けばガラス質膜が形成されます。

■長期間維持機能

ガラス質膜が構造物表面を風雨や紫外線から守ります。

■汚れ防止機能

トンネル内壁やコンクリート打ち放し壁面などを、排気ガスや降雨による汚れを付きにくくし、また汚れても落とすしやすくします。

■環境美化機能

ラッカーやシンナーが乗りにくく、張り紙も接着しにくいので、落書きや張り紙を簡単に除去でき、抑止効果も期待できます。



施工前



施工後

リラクスファルトHT舗装

リラクスファルトHTは、低温時の「変形追従性（たわみ性）」や「応力緩和性」、高温時の「塑性変形抵抗性」を改良した特殊改質アスファルトです。



リラクスファルトHTを使用したアスファルト混合物は、ひび割れが生じにくく流動わだち掘れの発生も抑制できますので、重交通路線の長寿命化舗装として活用できます。



国道（佐賀県）施工前



国道（佐賀県）施工後

維持修繕工事へのICT舗装技術適用検証

近年、i-Constructionの普及を国土交通省が強力に推進しています。i-Constructionとは生産性革命プロジェクトの一つであり、建設生産システム全体の生産性向上を目指す取り組みです。当社では「生産性革命元年」の2016年からICT（情報通信技術）を活用した土工・舗装工に取り組んでまいりました。そしてこの度、東名高速道路の舗装補修工事の一部区間において、NEXCO3社では初となるICT技術を全面的に活用した補修分野での試行工事を実施いたしました。起工測量から得られたデータを基に計画した3次元設計データを、切削機およびアスファルトフィニッシャのマシンコントロールや出来形管理へ活用し、人的・時間的な面の生産性向上の検証を行いました。ここで得られた知見を生かし、さらなる生産性向上へ取り組んでまいります。



TISによるマシンコントロール



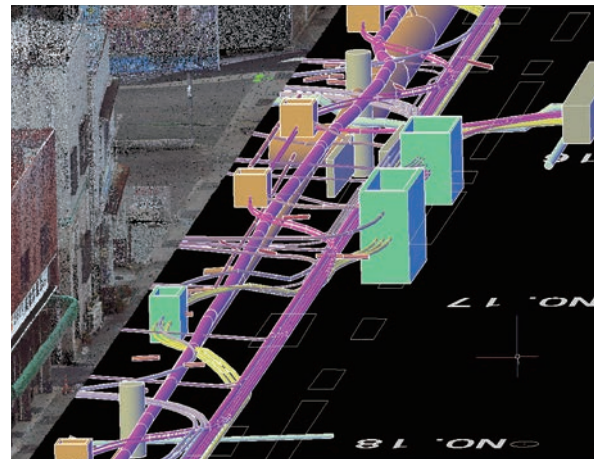
TISによるマシンコントロール

電線共同溝工事における事故防止技術

電線共同溝工事とは、電線類を地中に埋設し電柱や架空線を無くすることで、諸外国に負けないわが国の本来の景観の美しさを取り戻すとともに、安全性の向上や災害の激甚化の防止が図れます。電線共同溝工事は、すでに地中に埋設されている電気・水道・ガスなどのライフラインを損傷させず施工しなければなりません。図面による既設埋設物の位置情報が正確ではない場合も多く、ライフラインを損傷する事故につながりかねない難しい工事です。

そこで当社は、最先端のIoTを活用し、地下の探査結果から作成した3次元モデルをMicrosoft HoloLensに取り込んで装着し、施工前に現地で確認することで、誰もが掘削にて埋設管を露出させることなく立体像を視覚で認識できるシステムを開発。国道42号秋葉町管路敷設他工事に導入しました。

不可視物の「見える化」を可能にすることで、事故防止や工期の短縮に大きく寄与し、安全かつ効率的に工事を進めることが可能となります。



地上部の点群および既設埋設管・新規管路を統合したCIMモデル



HoloLensによる埋設管の確認状況



HoloLensによる視認イメージ

製品事業での取り組み

全国の合材工場をネットワークにお客様のニーズや環境課題に応じていきます。



工場での店舗グッズ販売



(名四アスコン：2018年リニューアル)



お客様に最適なお提案

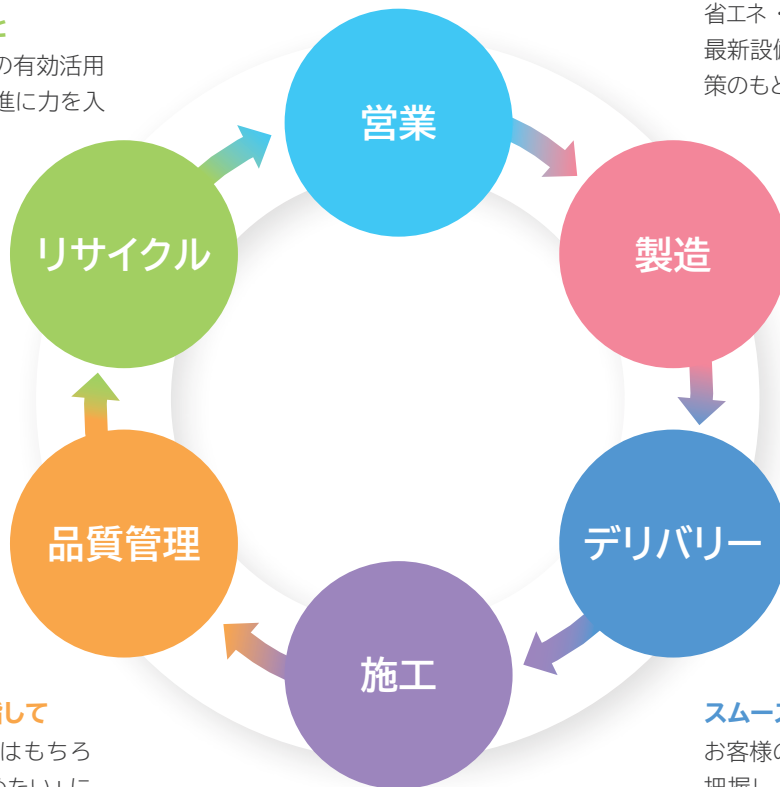
自社製品をはじめ、舗装工事、品質管理など、道路に関するあらゆるサポートをご提案します。

高品質な製品を最新設備で

省エネ・CO₂排出量削減効果の高い最新設備で、徹底した粉塵・騒音対策のもと、高品質な製品をご提供。

いま私たちができること

環境課題への配慮と資源の有効活用のため、リサイクル事業促進に力を入れています。



いつも安心・満足を目指して

製造時の品質管理の徹底はもちろん、お客様の「品質を確かめたい」にお応えできるよう各試験に対応しています。



安心して利用できる施工技術

快適で安全性の高い施工技術を提供し、道路をはじめお客様のさまざまな設計・施工をサポートしています。

スムーズな工事をサポート

お客様の現場状況やニーズを的確に把握し、スムーズな製品の納入でお客様の工事のより良いサポートと顧客満足の上を目指します。



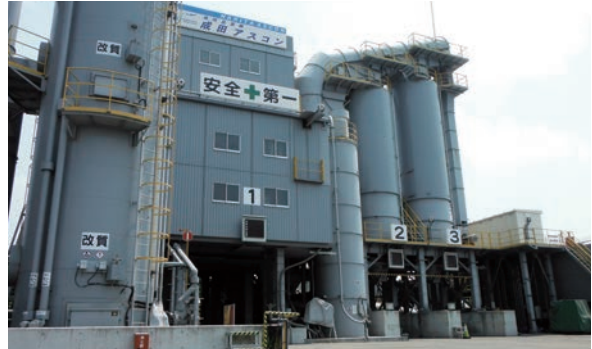
環境負荷低減に対する製品事業部の取り組み

大成ロテックでは、製品の品質向上と環境負荷の要因となるCO₂排出量削減を目的として、成果目標を2017年と設定し、本社に「品質・エンジニアリンググループ」を発足、各支社で人員を選抜し対策チームを2016年に設置しました。

骨材乾燥加熱における燃費改善では、ドライヤ熱交換効率の最適化を図るアクティブ制御、出荷量に適合したダウンサイジングや高効率バーナの導入など、環境に配慮した設備投資を積極的に実施。消費電力低減についてはコンプレッサの台数制御、LED照明への入れ替えや既設設備の改善とデマンド制御機器の導入を推進しております。また、従業員の働きやすさに配慮した工場へ建て替えるとともに、エネルギー消費低減にも力を注いできました。



高効率ドライヤバーナ



合材工場



全景



内部：粉塵発生抑制を目的とし、建屋内に破碎設備を設置しています。

2017年の成果としては、品質・エンジニアリンググループ発足前と比較すると、製造合材1t当たりのCO₂排出量を5.7%低減することができました。これからも高品質な製品を提供するとともに、環境課題への積極的な取り組みを行っていきます。

合材工場紹介

2018年2月から建て替えを進めていた福知山合材工場が10月に全面リニューアルしました。リニューアルにあたっては環境面に特に配慮しており、プロパンガスの導入によってCO₂の排出量を15%削減することができます。また、アスファルトプラントをシェルターで囲むことで、粉塵発生や騒音の抑制も図られています。安全面ではサイロからの出荷は前進のみのドライブスルー方式を採用し、バックでの進入による危険を解消しています。



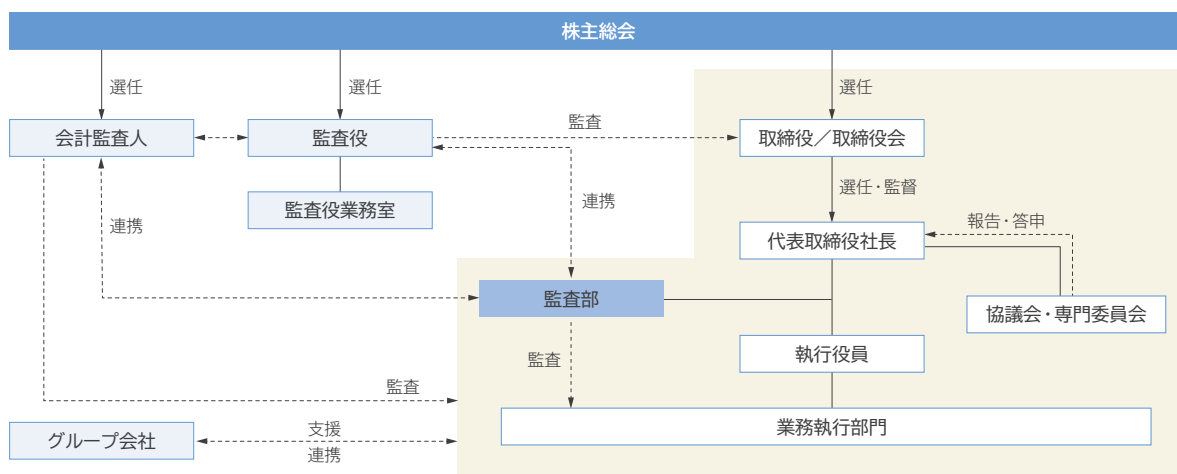


企業統治

大成ロテックでは、経営の効率性・透明性・健全性を高めるためにコーポレートガバナンス体制の充実・強化を図り、企業価値を向上させることを目指しています。

取締役会（社外取締役を含む）は、経営上の重要事項の決定と業務執行の監督を行います。監査役は、取締役会などの重要な会議への出席を通じて取締役の職務執行の適正性、健全性について監査を実施しています。また、執行役員制度を導入し業務執行の効率化・迅速化を図っています。

コーポレートガバナンス体制図



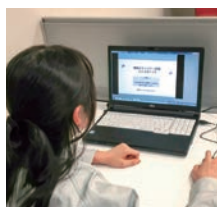
■コンプライアンスの推進

大成ロテックでは、「大成ロテック企業行動規範」を基本にコンプライアンスを推進してまいりましたが、一連の独占禁止法違反事件を受け、外部有識者を交えた「コンプライアンス特別対策委員会」を設置し、再発防止策を策定するとともに、そのフォローを行ってまいりました。

今般、同体制をさらに強化すべく、2018年7月に「法務コンプライアンス部」を設置し、一層のコンプライアンスの徹底を図ってまいります。



コンプライアンス研修の様子



eラーニング

具体的な取り組み

- 従業員一人ひとりに対してコンプライアンスを徹底させるために、毎年、全国の事業所においてコンプライアンス研修を開催しています。本年度は、独占禁止法および建設業法遵守の再徹底や事例説明に加え、注意すべき事案の水平展開を行うなど、具体的な問題を取り上げ、全社的なコンプライアンスの強化に努めています。
- 2018年4月から、全社員に対して「コンプライアンス通信」を発行しております。建設業法・ハラスメント・環境問題・労働関連など、毎回テーマを変え、月に1回をめぐりに配信し、コンプライアンス遵守意識の向上に努めるとともに、日常業務におけるコンプライアンス資料としての活用も図っています。
- 営業活動におけるコンプライアンス遵守状況の確認のため、社内規定「独占禁止法遵守のため行動指針」「入札業務の適正確認手続きに関する細則」にのっとり、毎年入札業務の監査を行っています。

■情報セキュリティ対策

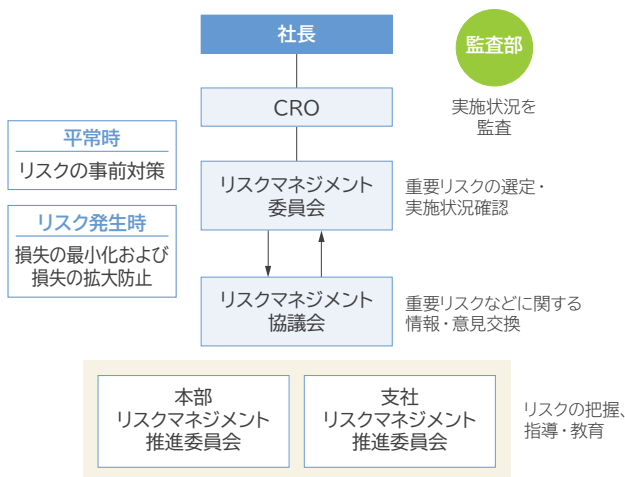
情報化社会は私たちの生活を便利にし、多種多様な利益をもたらしています。しかし利便性をもたらした反面、サイバー攻撃やインターネットにおけるトラブルなど大きな危険性を抱えています。これらの脅威から会社の情報資産を守るために、情報部門の情報セキュリティレベルの向上、社員が遵守すべきことを定めた「情報セキュリティ管理規定」など、さまざまな情報セキュリティ対策を講じています。

- 個人によるTwitter、Facebookなどの情報発信メディアによるトラブルを防止する行動指針として「ソーシャルメディア利用ガイドライン」を制定しています。

■リスクマネジメント

会社の社会的信用を損なわせる可能性のある事象、会社に人的、物的もしくは経済的損失を発生させる可能性のある事象をリスクと定義し、各本部・支社において抽出されたリスクの中から、特に影響度や発生の可能性・頻度が高いリスクについては「全社重要リスク」として管理・周知を図り、適宜必要に応じて見直しを実施しています。各部門ではそのリスクについて日常的にモニタリングし、リスクコントロールがなされているかをチェックしており、また、監査部はリスクマネジメントの実施状況に関する監査を実施しています。それらを継続的に実施することにより、リスク発生の予防、リスク発生による損失の最小化、再発の防止およびリスク対策の評価と改善を行い、大成建設グループの一員として企業の社会的責任を果たしてまいります。

リスクマネジメント実施体制



■マネジメントシステム

当社は現在3つのマネジメントシステムを社内で運用しています。実態が外から見えにくい品質管理システム、環境管理システムについては国際規格であるISO9001とISO14001に基づく外部の認証登録を受け、2017年に2015年版の移行審査を受け、移行が完了しています。第三者から定期的にその運用状況について審査を受け、日々業務の継続的改善に努め、当社が持続的な成長につなげています。また、社外からその活動が見えやすい労働安全衛生管理システムについては2017年度までは自己宣言方式を採用して運用していましたが、2018年11月に全社でCOHSMSに基づく認証を受けました。





地域社会とともに



北海道支社

遠別町内 除雪ボランティア

遠別営業所では地域貢献の一環として、1月18日から2月2日までの間、遠別町内の除雪ボランティアを行いました。除雪した通りは地元の中学生在が授業でスキー場に向かう道であり、生徒の安全な通行のため入念に作業を行いました。



東北支社

「かもめタウン」を活用した近隣住民への熱中症注意喚起

仙台市消防局とタイアップし、熱中症注意喚起を「かもめタウン（宛名不要のはがき）」にて近隣住民660軒に実施しました。



東関東支社

地元小学生を招いて社会科見学を実施

石岡合材工場では、三村小学校の3年生を招いて毎年工場見学を実施しています。当社の社員が講師となり、工場の説明や重機・ダンプの運転席での記念撮影、合材のサンプル品などに触れる体験イベントを行いました。道路舗装についての知識を深めるとともに、興味を持っていただく良い機会となっています。



北関東支社

むつみの里「むつみ祭」出店活動協力

浦和合材工場の近隣にある福祉施設大崎むつみの里の文化行事「むつみ祭」に、地域交流の一環として昨年に引き続き参加し、焼きそば・唐揚げ・綿あめ・ペットボトル飲料の出店および販売協力をいたしました。地域や施設の方々と交流する良い機会となっています。



関西支社

国土交通省

ボランティアサポートプログラム

福知山合材工場では地域貢献活動として、平成24年に国土交通省とボランティア・サポート・プログラム協定を結び、協力会社と共同で月に一度、国道9号線の美化清掃活動を実施しています。道路の清掃活動を通じて、快適な道づくりのサポートをしています。



九州支社

小学生が工場見学

福岡合材工場の近隣に位置する小学校から、児童130人ほどを工場に招待し、工場で行っている環境対策活動について説明会を開催いたしました。活動内容を印刷した下敷きの配布や、再生材や再生合材をじかに触れる体験をしてもらい、環境問題に対する関心、理解の向上に努めました。





従業員とともに

人権の尊重

■人権啓発活動

「大成ロテック企業行動規範」で基本的人権の尊重を掲げ、社長を委員長とした人権啓発協議会を設置して、差別のない社会の実現とハラスメントのない良好な職場環境づくりを推進しています。また、人権啓発研修会の実施はもとより、各社内研修のカリキュラムにも人権研修を組み入れ、さらにイントラネット上での「人権啓発のしおり」の掲載や、各事業場でのハラスメントに関する相談員の配置など、従業員に対し人権に対する意識の向上を図っています。

人権啓発協議会

目的

- ① 同和問題をはじめ社会に存在する様々な差別事象を正しく認識する。
- ② 不合理や差別を無くすよう努力する社員の行動を促進する。
- ③ 人権尊重の目的を達成する為の啓発活動を行う。

活動方針

- ① 『人権は本来持っている権利であり、全ての人が等しく幸せな生活を営むための基本的な権利』であることを正しく認識し、より良い人格形成を目指す社員の成長を支援する。
- ② 同和問題、障がい者、エイズ、セクハラ等の差別の実態を正確に理解し、集合研修や職場等で人権意識の高い従業員の育成をはかる。

労使関係

当社社員組合とユニオンショップ協定を結んでおり、管理職などを除くすべての正社員が組合員となっています。労使関係や会社の事業活動の円滑化を目的に毎年労使間でアンケート調査やさまざまな対話を実施しています。労働条件の変更などは労使で協議する事項としてあらかじめ労使間で決定しています。

働き方改革の推進

社内に「労働時間に関する協議会」および「ワーキンググループ」を設置し、さまざまな施策の立案・効果の分析を行っています。また、さまざまなツールを活用し社員と共に意識改革に取り組むことで、さらなる効率化を図り、労働時間の短縮、休日・休暇の取得率向上など今まで以上に社員が働きやすい環境づくりを行っています。

■早く帰ろうデーの実施

PC自動シャットダウンシステムを導入しており、社員組合の掲げる「毎週水曜日の早く帰ろうデー」として毎週1回実施していたものを、毎日実施する計画を立てています。

■具体的活用ツール

- 休日・休暇取得計画表
 - 働き方改革コミュニケーションボード
- 休日予定等の見える化を実施し、休みやすい環境づくりを行っています。

■ライフスタイル、業務に合わせた就業時間の変更

子どもを保育園等に預ける時間、公共交通機関のダイヤに合わせるなどの、ライフスタイルに合わせて就業時間を変更できる制度（現在3パターン）を導入しております。また、就業時間の繰り上げ下げ（出社時間から8時間勤務）制度（シフト勤務制）の導入も検討しています。

■長期休暇

GW、夏期、年末年始には特別休日のほか計画年休や休暇取得推進日を設け、9~10日程度の連続休暇となるように設定しています。

■リフレッシュ休暇・特別慰労休暇

勤続15年を迎えた社員にはリフレッシュ休暇として連続7日の休暇を、勤続25年を迎えた社員には特別慰労休暇として連続7日の休暇および旅行券を付与し、長年の勤務に対し慰労するとともに、心身ともにリフレッシュしさらなる活躍の契機となる制度を設けています。

■有給休暇平均取得日数

有給休暇平均取得日数		
2015年度	2016年度	2017年度
7.8日	8.8日	9.2日

ダイバーシティの推進

■ダイバーシティ推進室を設置

2018年度新たにダイバーシティ推進室が設置されました。外国人の雇用、障がい者の雇用などの「多様性のある人材活用」と、就業時間の選択制などの「多様性のある働き方」の推進を行い、多様な人材が活躍できる働きやすい会社への変革を目指していきます。

■仕事と子育ての両立

社員が能力を十分に発揮できるように次世代育成支援対策推進法に基づく「一般事業主行動計画」の策定や、出産・育児や介護に関わる休業・休暇制度の整備をしています。（2017年度の産休・育休復職率：100% ※女性社員）

■障がい者雇用率の改善

障がい者雇用を積極的に推進し、法定雇用率（2.2%）の達成を実現しています。

2017年度
2.29%

■外国籍従業員の採用

当社では、外国籍の社員も活躍しています。今後も積極的に採用を行い、多様な人材の活躍を推進していきます。

■当社初の女性部長就任

2017年4月1日付で本社管理本部情報システム部に女性の部長が就任いたしました。

■女性社員研修会の実施

各事業所、支社本部の女性社員が集まり、「働き方改革、ゆとりの創出のための業務改善、働きやすい職場づくり」などをテーマに活発な意見交換を行いました。

人材開発教育活動

新入社員研修に始まり階層別研修や各種専門研修、資格試験対策研修を体系的に実施し、OJT教育、通信教育制度などと合わせて、従業員の成長をバックアップしています。

スキルアップ研修・部門別専門研修			
1年次～	3年次～	30代～	40代～
新入社員合同研修	技術(3年次)研修	新任係長格研修	新任課長格・プレゼン研修
新入社員フォローアップ研修	上級品質管理担当者研修	国際研修	新任営業所長研修
基礎技術(2年次)研修	情報化施工(ICT)研修	現場代理人研修	新任工事事務所長研修
初級品質管理担当者研修	工事担当者(6年次)研修・プレゼン研修	統括管理能力向上・業務改善研修	新任工場長研修
営業基礎研修	エンジニアリングレベルアップ研修	PFI事業関連研修	マネジメント研修
機械担当者(初級)研修	原価管理研修	法務研修	部長格研修

※掲載の研修は一例であり、ほかにも多数の研修を実施しています。

■資格取得支援

全社員を対象として業務上必要となる資格・免許などの取得について、受験対策研修の実施や受験費用などを支援し、各分野におけるスキルアップを図っています。

資格一例

- 1級土木施工管理技士
- 1級舗装施工管理技術者
- 1級建設機械施工技士
- 1級建築士
- 技術士
- 監理技術者資格
- 監理技術者講習
- 測量士
- コンクリート主任技士
- 1級建設業経理士
- 宅地建物取引士
- エネルギー管理者
- 衛生管理者
- 博士号
- など

■若手社員に対する教育・指導

入社1～2年目の社員と年齢の近い社員を指導員に任命し、月に1度、生活指導や社会人としてのマナーを教育するとともに、仕事上不安に感じていることなどを共有しコミュニケーションを図っています。

■社長表彰・本部長表彰・支社長表彰

多大な功績を挙げ、社業の発展・向上に寄与した個人や団体を表彰し、業務改善・創意工夫などの意欲向上を図っています。

■テクノフォーラム2017開催

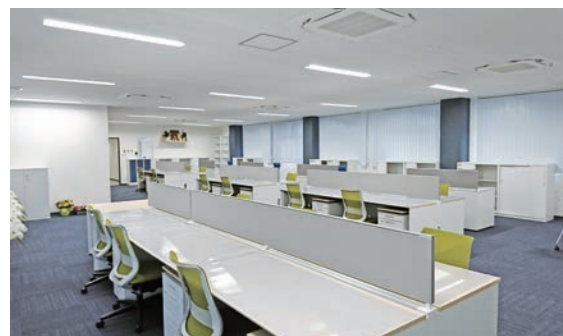
7月25日、鴻巣研修センターで「テクノフォーラム2017」が開催されました。第1回となる1992年より、当社の高い技術力を全社的に共有することを目的に隔年で開催されていましたが、2013年度から社員のプレゼン能力向上を目指し、毎年の開催となりました。発表は「インジェクト工法を用いた石張り舗装の損傷に関する調査例」など14編で、事前に提出された論文と当日の発表内容によって審査が行われました。発表者と参加者による活発な意見交換があり、社員の創意工夫や技術提案を知る最良の機会となりました。



テクノフォーラム2017 受賞者

職場環境の充実

2018年3月、熊本県の中南部事業所の事務所・社員宿舍・および別棟労務宿舍をリニューアルしました。新事務所は電気設備・空調も環境に配慮した最新の設備です。執務室はOAフロアの採用や什器類も新たに導入し、従業員への快適な職場環境が実現しました。また、社員宿舍・労務宿舍は清潔感のある快適な住環境に生まれ変わりました。この他、2017年度は尾張事業所や合材工場の建て替えなどを行ってきました。今後も従業員のより良い環境づくりに配慮した取り組みを続けていきます。





労働安全衛生管理体制



安全衛生マネジメントシステム

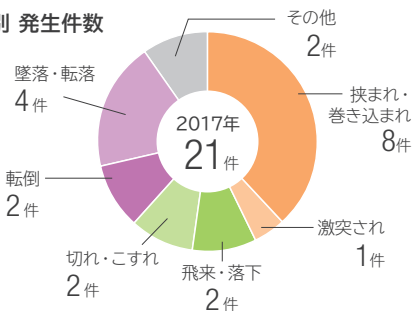
当社は、「労働安全衛生マネジメントシステムに関する指針」および「建設業労働安全衛生マネジメントシステムガイドライン」（コスモスガイドライン）に基づく安全衛生マネジメントシステムを運用し、事業活動に伴う労働災害、公衆災害の防止と安全衛生水準の向上に努めています。

2017年の事故・災害発生状況 総括

当社は2017年に2件の死亡事故を発生させてしまいました。亡くなられた方、そしてご遺族の方に深くお詫びするとともに、二度とこのような悲惨な災害を起こすことのないよう、社員一丸となって再発防止に向けた取り組みを行ってまいります。

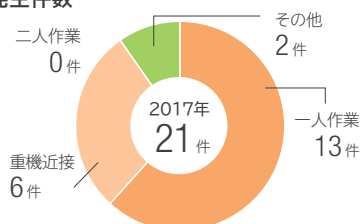
2017年の全体の件数としては『挟まれ・巻き込まれ』によるものが8件と最も多く、次いで『墜落・転落』が4件となります。昨年度まで複数件発生していた『激突され』は1件となりました。

事故の型別 発生件数



作業形態別では一人作業によるものが13件と全体の60%以上を占めています。

作業形態別 発生件数



2018年安全目標

死亡災害 0 災害率 1.5以下 公共災害 0

$$(*\text{災害率} = \frac{\text{不休災害を含む労働災害による死傷者数}}{\text{延労働時間数}} \times 1,000,000)$$

*災害率は当社独自の考え方で、不休災害を含む労働災害が100万時間当たり何人発生したかという指標です。

2018年度重点実施事項

① 支社幹部による「事故・災害撲滅活動」の推進

- 現場パトロール点検者、および統括安全衛生責任者の能力向上教育の実施
- 法令、規則、社内規定および社会貢献の順守教育の実施

② 事業所長による統括的な安全衛生環境管理と工事事務所長、作業所長、工場長自らによる安全衛生環境管理の徹底

- 現場環境に合わせた準会員協力的会社への事前教育の実施
- リスクアセスメントを取り入れた現場施工計画・工場操業計画および日常職場活動（教育、作業手順、各KY、巡視など）の活性化

③ 協力会社に対する教育・指導のさらなる強化

- 大成ロテック安全衛生環境協会連合会との連携による組織的安全衛生環境活動の推進と各職長会活動による現場力・工場力・知力の強化
- リスクアセスメントを取り入れた現場・工場での「作業手順書」、「リスクKY」の充実と「一人KY」の定着
- 再下請負を含めた「送り出し教育」の確実な実施
- マイスター職長制度の強化・推進

■ 工事現場での重点実施事項

リスクアセスメントによる減災・防災

重機・車両、土砂崩壊災害の防止

- ① 施工機械への安全補助装置（接触防止センサー等）の設置と従来ルール遵守によるダブルセーフティを徹底する

公衆災害の防止

- ① 供用中の道路工事における一般車損害事故の防止する

- 2 地下埋設物および地上公共物・重要構造物の事前調査と関係者への周知を徹底して公衆災害の撲滅を図る

安全衛生環境管理活動の活性化

- 1 工事事務所長（作業所長）が実施する安全環境教育により工事社員の安全環境管理能力の向上させる
- 2 事業所長および工事事務所長による現場に応じた安全管理・施工管理・人員等の能力を考慮し協力会社の適正な選定を行う
- 3 協力会社の自主安全衛生環境管理活動の支援・推進を行う

交通事故

- 1 前方不注意・速度超過による事故の絶滅を図る
- 2 安全運転管理者による安全運転教育と安全補助装置（衝突防止警報装置等）の導入を徹底する

環境保全

- 1 産業廃棄物適正処理のための産廃教育を実施する
- 2 使用材料ロスおよび手直し低減によりCO₂の削減をする

■工場での重点管理項目

リスクアセスメントによる減災・防災

重機・車両、工場施設災害の防止

- 1 点検・清掃・給油・検査・修理又は調整時における工場の動力停止ルールを厳守
- 2 車両系建設機械への安全補助装置（接触防止センサー等）の設置と従来ルール遵守によるダブルセーフティを徹底

公衆災害の防止

- 1 運転手への教育により合材運搬ダンプ事故の防止を図る
- 2 荷下ろし中の地上公共物破損事故の防止を徹底する

安全衛生環境管理活動の活性化

- 1 事業所長・工場長が実施する安全環境教育による工場従事者の安全環境管理能力を向上させる
- 2 協力会社の自主安全衛生環境管理活動の支援・推進を行う

交通事故

- 1 前方不注意・速度超過による事故の絶滅を図る
- 2 安全運転管理者による安全運転教育と安全補助装置（衝突防止警報装置等）の導入を徹底する

環境保全

- 1 産業廃棄物適正処理のための産廃教育を実施する
- 2 工場の地域環境に応じた環境活動の推進を行う
- 3 省エネ活動のさらなる推進を行う

パトロールの実施

当社では以下のようなパトロールを実施して事故災害の撲滅に努めています。

■社長パトロール

社長によって行われるパトロールです。



東京国際空港国際線地区構内道路舗装工事社長パトロール



(負)環状6号線西五反田地区および下目黒地区街路築造工事社長パトロール



西日本豪雨で被災した国道31号・185号呉保守工事社長パトロール

■本社安全環境品質部によるパトロール

全国安全週間、年末年始、年度末に合わせて行われるパトロールを含め、本社安全環境品質部が随時行う現場や工場のパトロールです。このパトロールでは安全、環境、品質の一元化の考えに基づき、安全だけではなく、当社が認証取得している品質マネジメントシステム、環境マネジメントシステムの内部監査も兼ねた巡視を行っています。

■支社、事業所によるパトロール

支社長をはじめとする支社幹部や事業所長によってパトロール計画ののっとり定期的に行われる安全パトロールです。

■事業主パトロール

協力会社の事業主によって毎月2回以上に行われる安全パトロールです。



現場パトロール



合材工場パトロール

協力会社との係わり

■職長教育について

建設業の担い手不足は業界が抱えている問題です。当社は施工部会に所属する正会員協力会社の職長の工事施工管理能力と積算能力を向上させて協力会社の生産性・利益向上を図り、当社の工事施工の担い手になってもらうことを目的として、全国で職長の教育を実施しています。



■マイスター職長制度について

当社の施工現場において労働災害の防止と品質のさらなる向上を図ることは、喫緊の課題です。そのためには協力会社の優秀な職長を確保することは必要不可欠です。労働災害の減少、品質のさらなる向上に寄与し、当社の施工現場に協力会社の優秀な職長を確保することを目的として、優良技能者認定する制度を2016年度制定しました。

条件

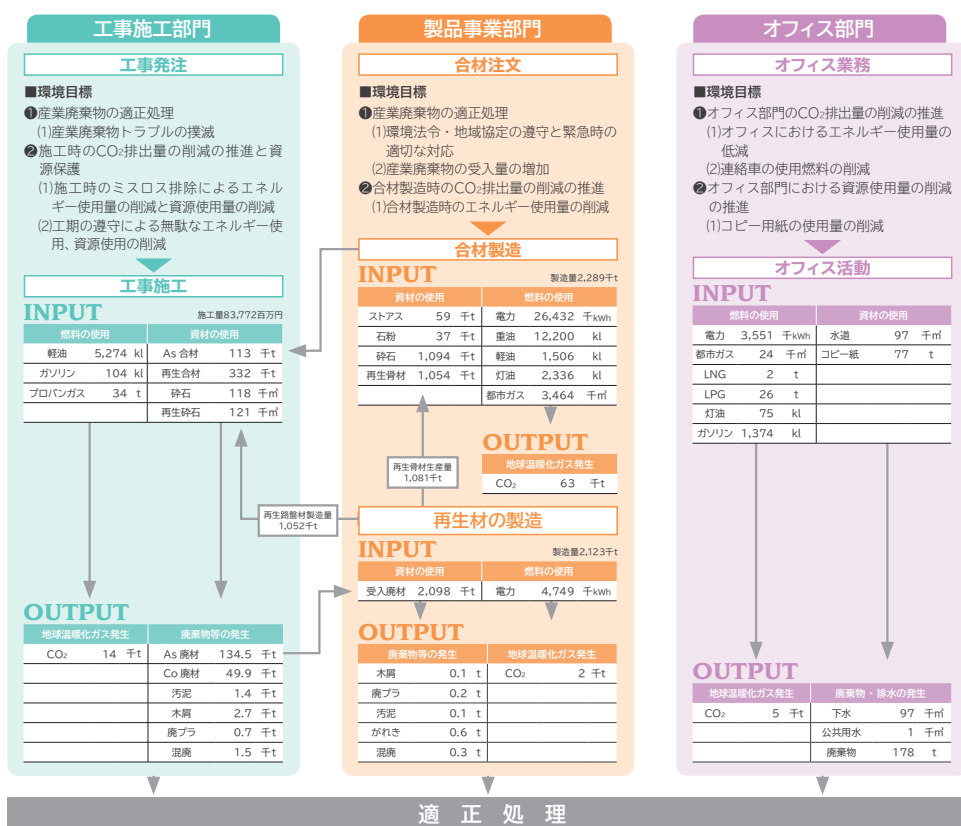
- 1 安全衛生環境協会正会員の協力会社に所属し、当該会社に5年以上勤務している者
- 2 現場施工に直接関わる職長で、災害防止活動、職長会活動、職場環境改善、品質の確保・向上に積極的に協力し、作業指揮等の能力が高く、実績・貢献度などが総合的に優秀な者
- 3 資格
 - 協会の正会員会社の社員であること。
 - 実務経験10年以上
 - 能力向上教育修了者
 - 工事部主催の「職長への教育」に参加して成績が優秀なこと。
 - 各支社および支部の職長会に参加して活動ができること。
 - 新CFTまたはRST資格所持者であり、協力会社への職長教育を実施できる者
 - 今後も特別教育のインストラクター資格の取得意欲があること。



環境活動報告

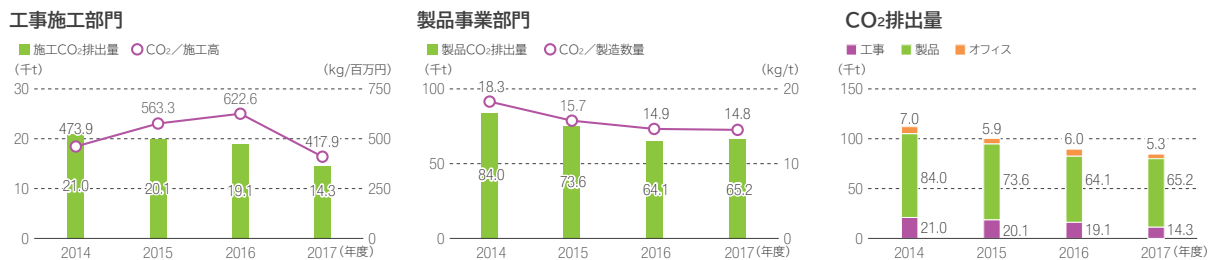
環境負荷物質の排出と削減状況

大成ロテックは、道路などの施工や合材製造、営業活動、技術開発・研究活動、オフィス活動その他の日常業務を通じて、以下のような環境負荷物質を排出しています。そして、舗装工事現場から排出されるアスファルト、コンクリートの廃材などを再生する中間処理プラントの活用により、産業廃棄物最終処分量の削減に貢献しています。



CO₂排出量削減への取り組み

大成ロテックでは、低炭素社会の実現を目指し、施工時、製品製造時のCO₂削減に努めています。

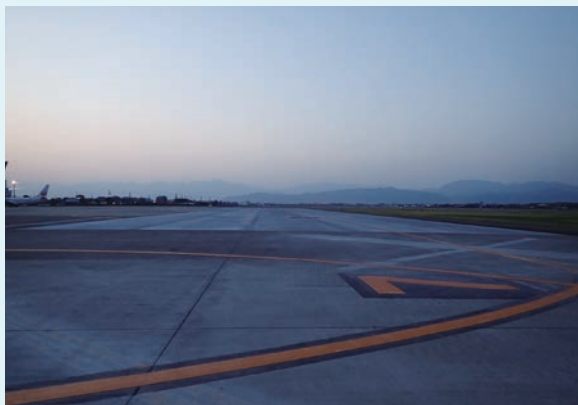


工事施工部門では計画に沿った進捗と品質を目指すことで、2014年に上昇したCO₂排出量が徐々に低減し、施工高当たりのCO₂排出量も2017年度は低減に成功しました。また、製品事業部門ではリニューアルに伴うCO₂低排出の設備の導入等により、製造t当たりのCO₂排出量は3年連続で抑えられることができました。当社は今後もより環境に配慮した活動を行ってまいります。

2017年度の施工実績

大成ロテックでは、全国各地でさまざまな事業活動を展開しています。2017年度の完成工事をご紹介します。

松山空港エプロン改良工事



発注者

国土交通省 四国地方整備局

竣工日

2018年3月27日

工事概要

コンクリート舗装工：7,325㎡
アスファルト舗装工：2,005㎡
コンクリート舗装版撤去：7,061㎡
区画線工：1式

既設エプロン誘導路部の老朽化に伴い、既設コンクリートをブロック状に切断し、吊上げ撤去した後、コンクリート舗装を新設しました。

工事担当者の声

寒冷期におけるコンクリート舗装となりましたので、打設面は凍害を防止するため三重シート（養生マット+プチプチ+ブルーシート）で保温養生を行いました。

日々、肌を刺す寒さと運用開始時間までの闘いの中での作業となりましたが、Taisei Qualityで引き渡すことができました。



現場代理人
植村 航生

新名神高速道路 箕面舗装工事



発注者

西日本高速道路株式会社

竣工日

2018年6月27日

工事概要

工事延長：10,770m
（土工部：2,340m 橋梁部：1,450m トンネル部：6,980m）
インターチェンジ：1カ所
パーキングエリア：1カ所
トンネル：2カ所

中国自動車道、名神高速道路とのダブルネットワークを形成することで慢性的な渋滞の緩和や、周辺地域へのアクセス向上や地域産業と観光の活性化が見込まれます。また、災害時の代替ルートとして機能し、災害復旧に寄与するなど大きな役割を果たすことなどが期待されています。

工事担当者の声

工事中は幾多の工事中止と先行工事の遅延に伴い、施工当初より突貫による厳しい環境での工事を要求されていました。目標とする開通時期が決まっていたことから工期短縮が可能な工法の選定と、それを実行するための資機材の調達と労務計画に苦労しました。最大で43人の職員となった大所帯の団結力と努力のかけがえがあり、開通時には発注者からも当社の行動力を高く評価していただきました。



現場代理人
新藤 新

国道45号 田老岩泉地区舗装工事



発注者

国土交通省 東北地方整備局

竣工日

2018年2月26日

工事概要

道路土工：39,050㎡
防草対策工：4,125㎡
アスファルト舗装：109,691㎡、
橋面舗装：25,088㎡
コンクリート舗装：43,045㎡
排水構造物工：12,719㎡
縁石工：11,169㎡
防護柵工：15,963㎡

本線および中間点の岩泉南IC、終点の岩泉龍泉洞ICのランプ新設と接続する各々の国道45号を改修する工事であり、岩泉龍泉洞ICは、6段階で施工を行い、現道の国道を夜間通行止め規制を行いながら、5回の切り回しを行い完成させました。

工事担当者の声

前工事の改良工事・橋梁工事からの引き渡しの遅延に対する工期短縮の努力・厳しい気象条件の中での冬季施工、総合評価技術提案等による平坦性に対して、発注者より高い評価を得られました。三陸の早期復興事業として、現道の線形不良区間・津波浸水区域を回避し、走行性が向上するこの道路は平時には暮らしを支え、災害時には命を守るという機能を持つ地域待望の事業に参加でき、皆さんの協力の下、竣工を迎えられ大変感謝しております。景色も素晴らしい、おいしいものもいっぱい三陸へお越しの際は、一度お立ち寄りいただけたらと思います。



現場代理人
江島 豊人



当社の活動は、インターネットのホームページでも公開しています。

<https://www.taiseirotec.co.jp/>



**NON
VOC**

本報告書は、環境に配慮した印刷工程と印刷資材を採用しています。省エネルギーの「UV印刷」を採用し、揮発性有機化合物の大気への排出が極めて少ない「NON VOCインク」と、適切に管理された森林からの原料を含む「FSC® 認証紙」を使用しています。